

所沢市の地域新電力事業

～「マチごと新電力」を目指して～

—No.7 所沢市—

【事業の目的】

これまで生み出してきた再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）をはじめとする環境にやさしい電力を市域に広めることで、再エネの利用率を高め、地球温暖化対策の一助とし、「マチごとエコタウン所沢構想」で掲げる自然に寄り添う持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的としています。

【事業の内容】

本市が掲げる「マチごとエコタウン所沢構想」の達成に向け、多くの市民や事業者の参加のもと、電力事業による再エネの普及に係る地域循環を創り出す取組（マチごと新電力）を実施するものです。

具体的には、PPS（新電力）や地元金融機関との官民連携事業として地域新電力会社を設立するとともに、その後の運営（再エネ施設から同社への電力提供、公共施設等での積極的な利用、市民主体による再エネ電源等の普及促進）を行い、環境にやさしい電力の利用を推進します。

【事業年度】

平成30年度～

【予算額(千円)】

地域新電力会社設立出資金として 5,100千円（平成30年度）

【財源】

マチごとエコタウン推進基金（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

世界各国の自治体やグローバル企業の一部では、再エネ 100%での事業運営を宣言する等、脱炭素社会の実現が時代の潮流になっています。国内においても、地域特性を活かしてエネルギーの地産地消や地域内還流を目指し、地方自治体が関与する地域新電力の設立が相次いでおり、本市としても、市域における再エネの利用拡大及び導入促進を課題として取り組むこととしました。

【事業のPRポイント】

本取組は、地方自治体が関与する他の地域新電力の先行事例とは異なり、市域における電力需要に対する地産電源の割合が非常に少ないため、本市の過半出資により地域新電力会社を設立し、これまで市外に流出していた資金、電気代の一部を活用し再エネの新たな電源の創出・利用に向ける等、市民や事業者を巻き込みながら再投資を行う好循環を生み出し、再エネの普及に係る地域循環の輪を構築していくことを目指す全国的にも数少ない取組です。

【事業実績・成果・今後の展開】

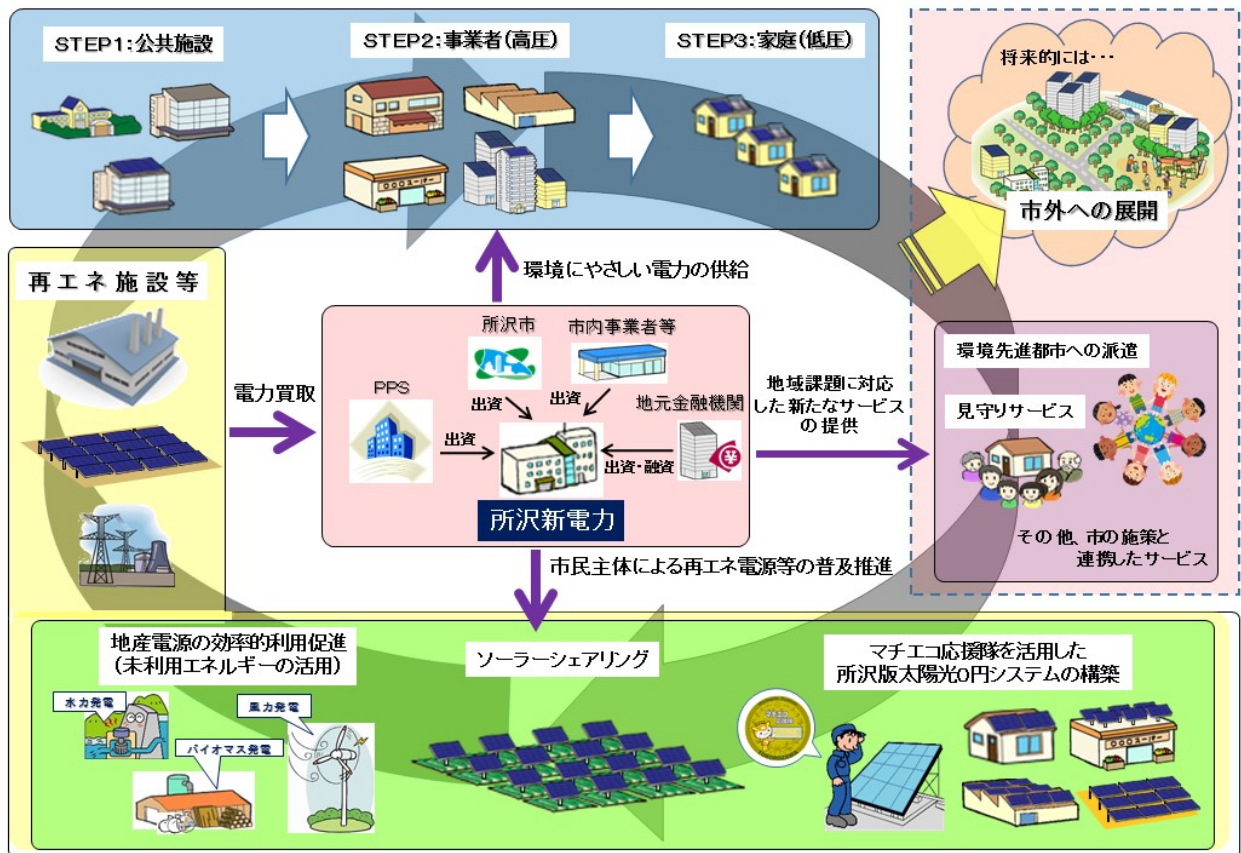
以下に示す地域新電力会社を設立し、10月から高圧需要家（市内公共施設及び民間事業者）を対象とする電力供給を順次開始していきます。将来的には、安定的な事業経営が確保できた段階で、家庭向け（低圧）にも電力を供給する予定としています。

<会社概要>

- 会社名：株式会社ところざわ未来電力
- 所在地：所沢市宮本町二丁目21番4号（上下水道局庁舎内）
- 事業内容：
 - ・発電及び電気の供給に関する事業
 - ・エネルギー、他のインフラサービス及び地域課題解決に係るサービス等に関する事業
 - ・その他附帯又は関連する事業
- 資本金：1,000万円
- 出資者：所沢市（51%）、JFEエンジニアリング(株)（29%）、飯能信用金庫（10%）、所沢商工会議所（10%）
- 役員：代表取締役 大舘 勉（所沢市 副市長）
- 設立日：平成30年5月28日

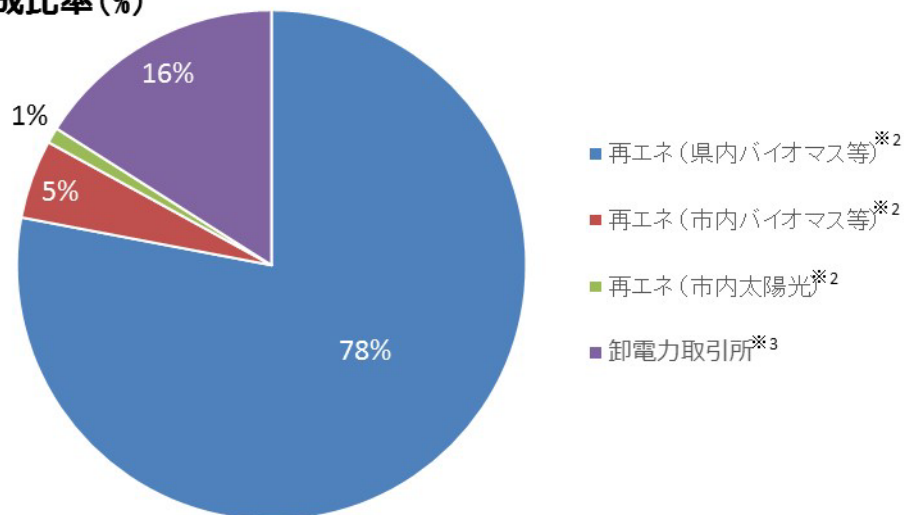
【参考資料】

○所沢新電力事業「まちごと新電力」イメージ図



○供給電源の構成

電源構成比率(%)^{※1}



※1 平成31年度の調達量(想定)をもとに算定

※2 FIT電源・未利用エネルギー含む

※3 卸電力取引所から調達する電気には水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。

〔連絡先〕

環境クリーン部 環境政策課 04(2998)9133(直通)